



糸島市新庁舎 完成

1月4日 開庁



市民が交流、活躍する場に 糸島市長 月形 祐二

福岡県糸島市の新たなランドマークとなる市庁舎が完成し、4日に待望の開庁を迎えた。基礎免震構造を採用するなど防災拠点としての機能を強化。イベントにも使える市民の交流スペースを設けた。エネルギー消費量を基準値より56%削減する「ZEB(ネ

ット・ゼロ・エネルギー・ビル) Ready」の認証を取得し、環境に配慮した庁舎となる。設計・監理は梓設計が担当。施工を手掛けた村本建設は技術力を駆使して手狭な敷地など厳しい現場条件を克服し、工期内に高品質の建物を完成させた。



エントランスホール



4階執務室



三軸織物の膜天井を使用した議場

まちづくり、防災、環境共生の拠点

本市は、2010年に1市2町が合併し、旧前原市庁舎を糸島市役所として市政運営の拠点としてきましたが、築50年を超え老朽化が進んだ庁舎では、多様な市民ニーズへの対応や災害時の防災拠点として機能を果たせなくなっていました。

そこで、「まちづくりを創造する庁舎」をコンセプトに新庁舎の建設に取り組み、この度、24年1月4日に開庁を迎えることができました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ市議会や関係各位のご理解、ご協力のたまものであり心より感謝申し上げます。

新庁舎は、防災拠点、環境への配慮、市民の利便性、情報の受発信、セキュリティーの確保、行政需要への柔軟性など、さまざまな機能を備えた形で整備しております。

特に防災面においては、停電時も非常用発電による72時間の電源を確保したほか、免震構造を採用し、大規模化する災害に備えております。

また、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) Ready認証を取得し、再生可能エネルギーを積極的に活用するとともに、来年には地中熱を利用した空調設備の導入を計画しており、省エネルギーのまちのシンボルとなるよう整備を進めております。

新庁舎エントランスホールからつながる市民ホールは窓を全面オープンすることができ、そこから広がるウッドデッキや公園と一体的に活用することで、家族連れやイベントなどさまざまな交流の場を創出することができます。

糸島の将来像「人とまちの魅力が輝く豊かさ実感都市いとしま」の拠点として、市民の皆さまが集い、交流、活躍する場となるよう活用してまいります。

設計コンセプト

■まちづくりを創造する庁舎

新庁舎は、地上6階建てRC造約12,000㎡の免震構造の建築です。

プレストレストコンクリート(PC)梁とPC床版を活用して執務室の無天井化を図るなど徹底的に建物高さを抑えることで隣接する丸田池公園への日影規制をクリアしながら、公園と一体的なヒューマンスケールな空間づくりにより、まちのにぎわいをつなぐ庁舎を計画しています。

市民利用の多い1・2階の低層部はガラス張りのデザインとすることで、まちを抜ける通り庭のように庁舎内を誰もが自由に行き来できます。日常的に市民が集い、憩い、交流できる空間として市民が主役となった「まちづくりを創造する庁舎」が糸島の新たなランドマークとなります。

■糸島らしい「水」のかたちをモチーフにしたデザイン

市民に開かれた庁舎を実現するに当たり内外装のデザインは、糸島らしさを体現した共通理念を形にすることが重要であると考えました。

糸島市には水に関わるさまざまな名所があります。一般に糸島を思い浮かべるとき、まず思い浮かべるのはこれらの情景であることから、「水のかたち」を庁舎の共通デザインキーと決めました。

白糸の滝をイメージしたランダムな縦スリットのPC外装、しずくのような丸みを帯びた総合案内カウンター、雲をイメージした透け感のある天井材を用いた議場など、水の形態変化に対応した多様な表情をデザインに組み込み、自然豊かな糸島市にふさわしい多様な表情をもつ庁舎をデザインしています。

■自然環境と調和したBEI=0.44のZEB Ready庁舎

新庁舎は糸島市の気候風土を生かした地域の環境と共に生きる庁舎です。

日射負荷の大きな東西面の開口部をしぼる他、自然換気システムの採用、高効率機器の採用、井水熱・地中熱の活用、太陽光パネルの設置などさまざまな省エネ対策により、省資源・省エネルギー・長寿命化を実現し、これからの時代にふさわしい次世代型庁舎を計画しています。

株式会社梓設計九州支社 設計部 石川 友樹

省エネ性能ZEB Ready認証を取得

地下階工事では120トンのクローラクレーンを使用していました。地上階工事は、土留に大変苦労しました。

計画地は東側と南側が道路に面しているため、搬出入路が北側と西側に限定され、西側には執務中の旧庁舎の建物もあり、敷地条件の制約が非常に多い現場でした。そこで免震装置が入る地下階の工事は中央部分の地盤を残し作業用構台にして外周部の作業効率を上げて先行施工し、最後に中工区を施工しました。

本工事はプレストレストコンクリート(PC)、プレキャストコンクリートを多く使用しているのが特徴で、建物東西外壁に設置したPC板、3、4階の執務室の天井に設置したPC床版、現場で施工するPC緊張梁があります。地下には、3タイプの免震装置57基を配置し災害時の重要な拠点となる建物になっています。家具やルバー材、フローリング材といった内装には糸島産の木材を使用しています。

きめ細かな工程管理で難工事完遂

無事完成を迎えられたのは市をはじめとする関係者の皆さまの理解、ご協力があったこと大変感謝しています。昨年7月の上棟から竣工に至るまでの期間は、私の長い現場監督人生で一番苦労した時期で、思い出に残る場面となりました。また、その困難に果敢に取り組み、完遂した弊社スタッフの頑張り、最高の賛辞を贈りたいと思います。

現場運営では「帰って来たくなくなる雰囲気」を指し、ホッとできる雰囲気づくりを心掛けました。

村本建設株式会社 九州支店 建築部総括所長 藤崎 晴司

■施工概要
■工事名称: 糸島市新庁舎建設工事
■所在地: 福岡県糸島市前原西1丁目1番1号
■建築主: 糸島市
■設計・監理: 株式会社梓設計九州支社

施工のポイント



市民ホール



展望ロビー



糸島デッキ



村本建設株式会社

<https://www.muramoto.co.jp/>

本社: 〒543-0002 大阪市天王寺区上汐 4-5-26 TEL 06-6772-8201
東京本社: 〒102-0084 東京都千代田区二番町 3-4 TEL 03-3238-2007
九州支店: 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3 TEL 092-273-1161

本支店: 東北・東京・横浜・千葉・名古屋・大阪・奈良・中国・九州

愛をもっと。村本。